

## &lt;コメント&gt;

実習生の受け入れについて事業計画に位置づけており、マニュアルも整備しています。マニュアルには保護者への説明についても明記され、円滑に実習が進められるようにしています。実習プログラムは、実習生のニーズに応じたオリジナルなものを養成校と連携して作成しています。実習の目的、養成校側のねらい、本人の目標を確認して職員に伝え、効果的な実習となるようにしています。体制を整え、今年度も多数の実習生の受け入れを行っています。指導者に対する研修が行われておらず実施が期待されます。

## II-3 運営の透明性の確保

## II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者評価結果

## 21 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するため情報公開が行われている。

b

## 【判断基準】

- a) 保育所の事業や財務等に関する情報について、適切に公開している。
- b) 保育所の事業や財務等に関する情報を公表しているが、方法や内容が十分ではない。
- c) 保育所の事業や財務等に関する情報を公表していない。
- ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
  - イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
  - ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
  - エ 法人（保育所）の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人（保育所）の存在意義や役割を明確にするように努めている。
  - オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。

## &lt;コメント&gt;

ホームページには、法人理念、園目標、保育方針、保育内容、決算情報、園庭開放等の地域貢献事業、保育所の自己評価結果等の情報が掲載され、透明性のある運営に努めています。一方で、ホームページには予算、第三者評価の受審結果、苦情・相談の内容や解決等の情報が公表されていません。これらについても可能な限り公表することが期待されます。地域に向けては、パンフレットを子育て支援拠点に置いたり、ホームページに園だよりを掲載するなどして保育所の活動を紹介しています。

第三者評価結果

## 22 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。

b

## 【判断基準】

- a) 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。
- b) 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているが、十分ではない。
- c) 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われていない。
- ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
  - イ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
  - ウ 保育所の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
  - エ 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

## &lt;コメント&gt;

経理規程、事務分掌表が整備され職務権限や責任が明確にされていますが、職員への周知が徹底されていません。規程類はファイル化され事務所内の職員が閲覧できる場所に置かれています。物品購入等は、業務担当者が事前に稟議書を起こして施設長の決裁を得た上で、取引業者の見積もり合わせを経て公正な業者選定を行って契約をしています。法人職員と監事が内部監査を実施し、外部の会計監査人の専門的な指導・助言も得て経営の改善につなげています。

## II-4 地域との交流、地域貢献

## II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

第三者評価結果

## 23 II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。

a

## 【判断基準】

- a) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを積極的に行っている。  
 b) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っているが、十分ではない。  
 c) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っていない。
- ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
  - イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
  - ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
  - エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
  - オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。

## &lt;コメント&gt;

保育理念に「地域社会との連携」を掲げ、事業計画では「世代間交流」として高齢者とふれあう機会を持つ等の具体的な事業を掲載しています。保育所の掲示板等には、子どもと保護者が利用できる社会資源を紹介するチラシを掲示して保護者に情報提供をしています。近隣の海の公園で実施する金沢区民のお祭りでは、職員を派遣して地域との関わりを持っています。このように積極的に地域との交流に取り組んでいますが、コロナ禍のため子どもが直接関わりを持つ地域交流は見合わせ、可能な取組を検討して実施しています。

第三者評価結果

## 24 II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。

b

## 【判断基準】

- a) ボランティア等の受入れに対する基本姿勢が明示されており、受入れについての体制が整備されている。  
 b) ボランティア等の受入れに対する基本姿勢は明示されているが、受入れについての体制が十分に整備されていない。  
 c) ボランティア等の受入れに対する基本姿勢が明示されていない。
- ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
  - イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
  - ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
  - エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
  - オ 学校教育への協力を行っている。

<コメント>  
 ボランティア活動は、地域社会と保育所をつなぐ一つの柱として位置づけ、マニュアルを整備して適切な受け入れができるようにしています。受け入れにより思いがけない事故やトラブルにならないよう、ボランティア活動に入る前にはマニュアルに基づいたオリエンテーションを実施し、受け入れ趣旨を保護者へも説明しています。受け入れ実績は、中学校、高校の体験学習となっていますが、地域の方のボランティア受け入れも検討されることを期待します。また、ボランティア等の受け入れを事業計画に位置づけることの検討も期待します。

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
----	--	---

第三者評価結果

【判断基準】

- a) 子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握し、その関係機関等との連携が適切に行われている。
- b) 子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握しているが、その関係機関等との連携が十分ではない。
- c) 子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示していない。
  - ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
  - イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
  - ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
  - エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
  - オ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
  - カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。

<コメント>  
 子どもや保護者支援に関わる社会資源の連絡先一覧表を作成して、職員に周知情報共有しています。区役所、児童相談所、地域療育センター、警察等いつでも連絡を取れる体制になっています。これらの機関とは必要に応じ解決に向けて協働しての取り組みをしています。また、要保護児童対策地域協議会にも参加して関係機関で情報共有し、要保護児童の支援をしています。また、金沢区の養育者、地域、関係機関、行政で構成する「金沢区健やか子育て連絡会」にも積極的に参加し、園は「子育てしやすい地域づくり」に貢献をしています。

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
----	--	---

第三者評価結果

【判断基準】

- a) 地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を積極的に行っている。
- b) 地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を行っているが、十分ではない。
- c) 地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を行っていない。
  - ア 保育所（法人）が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流や相談事業などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
  - イ 保育所のもつ機能を地域へ還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
  - ウ 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。

## &lt;コメント&gt;

法人のイメージキャラクターを活用した子育て相談事業に取り組んでいます。毎週土曜日には大型遊具などが揃った広い園庭の開放をしています。保育園の生活を体験してもらう「遊ぼう会」を今年度は7回企画実施しています。6月の「歯の衛生週間」には、歯の健康についての講演会を実施しました。地域の子育てサロンに保育士を派遣して、育児相談、紙芝居、体操をしています。これらの活動を通じて地域の福祉ニーズの把握に努めています。

第三者評価結果

27

Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。

b

## 【判断基準】

- a) 把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動を積極的に行っている。  
 b) 把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が十分ではない。  
 c) 把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動を行っていない。
- ア 把握した地域ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
  - イ 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
  - ウ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
  - エ 保育所（法人）が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや、専門的な情報を地域に還元する取組を積極的に行っている。
  - オ 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

## &lt;コメント&gt;

地域の福祉ニーズを把握しながら、地域に関わる多彩な活動を展開しています。園庭開放、講演会、子育て相談等の地域活動の他、区民のお祭り「金沢祭りいきいきフェスタ」の会場に設置した保育ブースに職員を派遣してパルーン遊び等の遊びの提供と紙芝居をするなどして地域の活性化やまちづくりに貢献をしています。保育所内にAEDを設置して地域の方も利用できるようにしています。今後の課題として、地域の防災対策などの活動を課題と考えています。